

事業コード	事業名	事業の概要	インプット（事務事業に必要な行政資源）								アウトプット		アウトカム (事業成果を測るKPIがある場合はその状況。ない場合は「-」)
			事業費 (千円)	国	北海道	市債	交付税 措置(%)	その他	一般財源	人工 (R3年度)		R3年度は何をどれだけしたか (利用者数・件数等)	
正職員	会計 年度												
04 22 02	スクールバス 運行事業	統廃合により閉校となった学校の通学区域に居住する児童生徒の通学手段を確保するため、スクールバス等を運行する。 <運営方法> ・直営（スクールバス） ・事業者への委託（タクシー、マイクロバス） ・乗合タクシーの利用	R2決算	35,207	2,264	0	0	0	32,943	0.5	0	統廃合により閉校となった学校の通学区域に居住する児童生徒の登下校の交通手段を確保することができた。 スクールバス等を運行し通学支援を行った児童生徒数： 9地区 計95名	-
			R3当初予算	45,719	3,132	0	0	0	42,587				
			R3決算見込	39,760	2,287	0	0	0	37,473				
			R4当初予算	47,188	2,925	0	0	0	44,263				

開始時期	実施根拠	関連する計画等	行政・民間の類似事業・サービス	改善・課題解決の参考になる事例
平成3年度	旭川市スクールバス・タクシー運行要領 旭川市千代ヶ岡スクールバス運行管理要領	旭川市立小・中学校適正配置計画	旭川立小中学校に遠距離通学する児童生徒の通学に要する費用の一部を助成している。（児童生徒1人につき10,000円以内）市が運行する通学用車両を利用することができる児童生徒は対象外。	直営のスクールバスや、業者委託によるバス・タクシーの運行ほか、地域交通を活用している事例がある。

1次評価（所管部局）				
行財政改革の視点	課題	改善・対策の方向性	見込まれる効果	
① デジタル化・DX ② アウトソーシング ③ 業務の効率化 ④ 収入・財源の確保 ⑤ 事業費の抑制 ⑥ 連携・協働の推進 ⑦ 職員能力・組織力の向上 ⑧ その他	運転手不足などから受託可能な事業者が限られること、直営のスクールバス運行においても勤務時間等の関係から運転手の人材が限られることから、今後統廃合により対象地域の拡大が見込まれるなか、安定的に運営していくことが課題である。また、事業費抑制の面からも、運営方法について検討していく必要がある。	直営のスクールバスについては、バスの更新時期に合わせ、運行方法（直営の継続、業者委託への変更）について保護者と協議する。また、関係部局と連携を図りながら、保護者や地域と協議を行い、地域交通の活用について検討する。	閉校となった学校の通学区域に居住する児童生徒の登下校の交通手段を、より少ない経費で安定的に確保する。	

外部評価（行財政改革推進委員会）	2次評価（行政評価検討会議）

(参考) 事務事業の「総合計画」「まち・ひと・しごと創生総合戦略」「公約」上の位置づけ

事業コード	事業名	事業の概要	インプット(事務事業に必要な行政資源)								アウトプット		アウトカム (事業成果を測るKPIがある場合はその状況)
			事業費(千円)	国	北海道	市債	交付税措置(%)	その他	一般財源	人工(R3年度) 正職員 会計年度	R3年度は何をどれだけしたか (利用者数・件数等)		
04 22 02	スクールバス運行事業	統廃合により閉校となった学校の通学区域に居住する児童生徒の通学手段を確保するため、スクールバス等を運行する。 <運営方法> ・直営(スクールバス) ・事業者への委託(タクシー、マイクロスバ) ・乗合タクシーの利用	R2決算	35,207	2,264	0	0	0	0	32,943	0.5	0	統廃合により閉校となった学校の通学区域に居住する児童生徒の登下校の交通手段を確保することができた。 スクールバス等を運行し通学支援を行った児童生徒数: 9地区 計95名
			R3当初予算	45,719	3,132	0	0	0	0	42,587			
			R3決算見込	39,760	2,287	0	0	0	0	37,473			
			R4当初予算	47,188	2,925	0	0	0	0	44,263			

目指す都市像の実現に向けて

(事業のアウトカムが総合計画の施策推進に貢献)

展開施策

4-2-2 安全対策の推進

(施策「安全・安心な教育環境の整備」の一部)

(事業の目的)  
(政策の手段)

通学路における安全確保のため、防犯や交通安全などに係る教育や通学対策を行います。

施策のアウトカム (評価指標≒事業の中間アウトカム)	単位	基準値	実績		達成率	目標値 R5
			R2	R3		
自他の安全に気を付けて生活している児童生徒の割合	%	小学校89.4中学校80.2	小学校93.8中学校89.8	小学校93.8中学校89.8		小学校94.7中学校90.1

(施策のアウトカムは将来ビジョン推進に貢献)

将来  
ビジョン

(基本政策)

次代の担い手が、生き生きと学ぶ教育の推進

- 子どもたちが心身ともに健やかに成長し、社会で自立して生きていく力を培う教育が行われています。
- 教育に関わる施設などの環境整備が進み、子どもたちの安全・安心が確保されています。
- 学校・家庭・地域の連携が図られ、地域で取り組む教育活動が推進されています。



基本政策のアウトカム (成果指標≒事業の最終アウトカム)	単位	基準値	実績		進捗	目標値 R5
			R2	R3		
子どもたちが健やかに成長していると感じる市民の割合(再掲)	%	55.5	59.9	50.6	↘	65
子どもたちへの教育環境が充実していると感じる市民の割合	%	31.6	34.2	27	↘	38.5

人口減少の抑制に向けて

(事業のアウトカムが総合戦略の施策推進に貢献)

施策(まち・ひと・しごと創生総合戦略の施策≒人口減少抑制の観点の事業の目的)

施策のアウトカム (総合戦略のKPI≒事業の中間アウトカム)	単位	基準値	実績		達成率	目標値 R6
			R元	R2		

(施策のアウトカムが将来ビジョン推進に貢献)

将来ビジョン(総合戦略の基本目標)

総合戦略のアウトカム (総合戦略数値目標≒事業の最終アウトカム)	目標値
	R6

公約実現に向けて

市長公約